

河北新報社「2022年新春トップインタビュー」に掲載されました

2022年1月5日発行の河北新報「新春トップインタビュー」に弊社の代表取締役社長五十嵐 克彦のインタビュー記事が掲載されましたので、ご覧ください。

株式会社 **TTK**

― 昨年を振り返るといかがですか。―

東北地方で、社会の重要なインフラの一つである情報通信設備の構築を手掛けていますが、東日本大震災の津波で被災した通信設備の復旧はほぼ完了

― 近づくに近づいてきました。復興に微力ながらも役に立てたと思っています。

― 新型コロナウイルス禍でテレワークや遠隔授業が

― 進んでおり、今後はサービス提供エリアの拡大が進むと思います。

― グループ会社の商号が変わりました。グループ会社は東北

― TTKグループの連携を強くし、地域に密着した事業運営を強化することなどが目的です。災害時でもキャリアさまの通信を安定

― 的に使ってもらうために、グループ全体でより強い責任感を持ってインフラ整備などに当たります。

― 今後については情報通信を基盤事業としながらも、今までは太陽光発電施設の設置などにも力を入れてきました。今後はさらに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の分野に励んでいきたいですね。



代表取締役社長
い が ら し かつ ひ こ
五十嵐 克彦氏

グループの連携より強く

― 進み、情報通信の必要性は高まっています。今まで光ファイバーが届いていない場所にも拡張する工事も手掛けています。

― さらに、5G移動通信システムに伴う事業

― 6県全てにあり、情報通信設備の構築や光ファイバー保守などを行って行っています。昨年4月、社名を「TTK エンジ宮城」など、TTK+県名の名称に変更、統一しました。

― 今後については情報通信を基盤事業としながらも、今までは太陽光発電施設の設置などにも力を入れてきました。今後はさらに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の分野に励んでいきたいですね。